



# 議会だより

23号

平成21年1月発行

*Report of City Assembly*



成人式(ベッセルおおち)

## 目次

議会報告	条例改正	一般会計	…	2
総務文教常任委員会報告	…	…	…	3
民生常任委員会報告	…	…	…	4
建設経済常任委員会報告	…	…	…	5
平成19年度決算審査特別委員会報告	研修報告	…	…	6

一般質問	…	…	7～13
意見書	…	…	14
議員の賛否表	…	…	15
議会日誌	編集後記等	…	16

# 平成20年 12月定例会

12月定例会は4日に開会し、会期を22日までの19日間とし、報告1件を受けた後、認定10件、請願1件、条例改正4件、条例廃止1件、補正予算4件、発議2件、指定管理者の指定4件、人事1件、その他4件の31件を慎重に審査し、30件を原案可決し、請願は不採択になりました。

## 条例の改正

○個人情報保護条例の一部を改正する条例について  
統計法が改正され、統計報告調整法が廃止されることにより所要の改正を行うもの。

○障がい児を育てる地域交流の場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

障がい児を育てる地域交流の場「ほほえみ」と一体的な管理を目的として、指定管理者制度を導入するため、所要の改正を行うもの。

○キャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

「田の浦キャンプ場」を廃止し大池オートキャンプ場に集約するもの。



○国民健康保険条例の一部を改正する条例について  
被保険者の負担を軽減するため、同制度に加入する医療機関で出産した場合三五万円の一時金に三万円を上限として加算しようとする改正。

## 一般会計補正予算

**四億三、一三五万九千円**

### 総額

**一四一億一六四万五千円**

### 補正の主なもの

#### 総務費

基金積立金  
県立白鳥病院周辺整備事業  
四四三万円

#### 民生費

生活保護費  
三、二一五万五千円

#### 商工費

観光施設管理費

#### 土木費

港湾管理費

#### 財産の交換について

大川東高校跡地の取得にともない、県有地から市有地を差し引いた額  
一億三、八六〇万円で購入

一、三四九万四千円

一、四一〇万円

#### 指定管理を受けた団体

〔白鳥温泉〕

株式会社 創裕

〔ワーサン・  
マーレリッコ〕 株式会社 ソルトレイクひげた  
〔大池オートキャンプ場〕 (代表取締役 上村 求)  
(代表取締役 川北 哲)

大池クラブ

(代表者  
川崎  
満)

# 総務文教常任委員会報告

十二月定例会において、当委員会に付託された議案について慎重に審査を行い、請願は不採択、二議案とも原案通り可決すべきものと決定しました。

## 窓口における行政書士法の遵守について。行政側の現状説明

各種証明の交付申請には、本人申請が多いが、行政書士など一定の資格を有する方、依頼者から個人的に委託された代理人などがある。

本人以外の方には、委任状の添付確認、本人確認書類の提示を行い、法令の定めに従い事務処理を行っている。なお、周知啓発を図るためポスターの掲示や、手続き代行は行政書士へとすることで、ボールペンやグッズを窓口カウンターにおいて、請願趣旨に沿った協力をしている。

問

請願の採択に当たっては、市の権限、議会の権限事項に属するものかが判断基準となる。また、本市に違反の実例はほとんどなく、法令遵守の徹底だけのお願いであれば、職員は地方公務員法に従い、職務が遂行され

## 窓口における行政書士法の遵守について。行政側の現状説明

ており議会が改めて意思表示をするまでもないと思う。法令違反の具体的な事例が、請願者から示されたり、事実の確認はされたのか。

世界的な不況など大変な状況で詐欺事件等あり、事件性の事例はありませんが、今後、転ばぬ先の杖として、もう一度趣旨の徹底をお願いするものである。（紹介議員の答弁）

問

窓口において反復で、同一人が、委任状を持つて何回も来る事例はあるのか。また、その場合どのように対

問 本市での具体的には是正してほしいものはなにか。

答 農業関係の転用の部分で報酬、無報酬の部分があり、具体的的事実としてはつきり確認はできていないが、常に、習慣的にあるのではないかと聞いている。（紹介議員の答弁）

問

窓口において反復で、同一人が、委任状を持つて何回も来る事例はあるのか。また、その場合どのように対

財産の交換について  
（天川東高校跡地の県有地と市有地を交換する用地費の関係のもの）

答 東高の校舎で耐震性のないものの撤去費四千六百万円は確定か。後に精算するのか。

（紹介議員の答弁）

処しているか。  
反復のケースはあり、申請があれば手続きをせざるを得ない。（執行部の答弁）

一般会計補正予算（第五号）について

問 学校給食費の燃料費は、今安くなっている。予算では何円にしていたか。

答 当初予算では、リツターハイ十八円で計上していました。最高は九月一日の百十四円で、今七十円九十銭まで下がっており、上がった分、下がるものを見込んで今回増額補正を計上した。

問

解体費用は適正か。  
発注前でもあり概算的なものなので、詳細は答えられない。

市が一筆ごとに鑑定した。



ひけたの新しい学校の基本設計

# 民生常任委員会報告

十二月定例会において、当委員会に付託された議案について慎重に審査を行い、二議案とも原案の通り可決すべきものと決定しました。

## 一般会計補正予算（第五号）について

### 問 生活保護世帯に至る内容と相談件数について。

**答** 相談件数と個別の理由としては、医療費の支払いに困窮・十三件、高齢で年金も無く生活に困窮・十三件、雇用等で就労収入の減少・九件、傷病により就労できず生活に困窮・八件、扶養義務者の死亡により生活に困窮・四件である。他法、他施策の積極的な活用や関係機関と連携を図り保護世帯の自立助長の促進を図っている。

### 問 生活保護費のうち扶助費について。

**答** 生活保護全般の扶助費として生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助と施設事務費の全てを計上している。内訳は、医療

扶助が一番多く六割強で、続いて生活扶助が二割程度である。

### 問 障がい者福祉の自立支援給付事業では、交流の場と新作業所で重複する設備等の簡素化について。

**答** 給食センター跡の整備事業として「ほほえみ」を六百万円で整備し残りの部分を作業所への要望もあり障がい者自立支援基盤整備事業で二千万円、事業の百%を国庫補助で整備を行いトイレ、シャワー室等施設の整備基準で最低限の整備をするもの。

### 問 新型インフルエンザに対する対策と防護用品備蓄について。

**答** 香川県新型インフルエンザ対策行動計画の中に、市町単位で発熱外来の施設を別に設けることが盛込まれている。新型インフルエンザが発生した時、職員等が着用する防護服等を備蓄する必要がある。県の施設として平成二十一年四月には津田に保健所ができ東讃の拠点となる。市の施設は、独立した施設を選定する必要がある。

**答** 後期高齢者の支援金関係に上り、他の市町がこの四月に上げているが、本市は、現状維持で上げていない。今後の見込みについては、年度の決算状況を見た上で検討し、もし不足部分が出るようであれば、基金を財源として考慮したい。

### 問 児童福祉の家庭相談と母子相談の件数と内容について。

**答** 平成十九年で母子自立支援員が三百十二件、家庭児童相談が四百九件である。内容は、虐待三百三件、保健

六件、障害一件、非行三件、性格行動十一件、不登校五十五件、いじめ一件、その他二十九件で相談は終結がなく継続している。児童虐待の対策としては、オレンジリボンキャンペーンや民生委員や各種団体、地域の方に協力をお願いしたい。

### 問 国民健康保険事業特別会計補正予算（第二号）について

**問** 今後の国保税見込みについて。



栃木県大田原市が独自の方法で行う新型インフルエンザ対策模擬訓練の様子

# 建設経済常任委員会報告

十二月定例会において、当委員会に付託された議案について慎重に審査を行い、九議案とも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 一般会計補正予算（第五号）について

ベッセルおおちのボイラーについて、故障したのは一基だが、二基とも換える必要があるのか。

業者の診断を実施し、状況を比較検討したところ、今、二基とも交換すべきとの結論に達した。

予算が成立した場合、今後の予定はどうなるのか。

診断と比較検討の資料があるので、設計は早くできるものと考える。機械は、注文生産で、製作に、約一ヶ月半ぐらいかかる。工事そのものは三日間程度と考えており、三月末には完成したいと思っている。

ボイラーは、定期点検、メンテナンスをきちっとしていれば、通常はどれくらい

もつのか。

通常の耐用年数は十五年であるが、当該ボイラーの使用方法が悪かった事もなく、通常の点検も実施していたので、原因等については分からぬ。

通常の耐用年数は十五年であるが、当該ボイラーの使

域への危険性を考えなければならぬ小規模ため池廃止の県事業も本年度からできたので各種制度を活用していきたい。

受益者がいなくなり、下流

への危険性が懸念されると思うが。

公の施設であり、すべて条例があるので、議会の意見も聞くこととなる。

ソルトレイクひけたは、市が債務負担を持つているが、今後五年で収支はどうなるのか。

既に前年度末で負担金の借入金は精算済みであり、現在は自立している。

入浴料金は三年間変えないのか、指定管理に移行しても、福祉施設として、本来の目的から逸脱しないのか。

公の施設であり、すべて条

例があるので、議会の意見も聞くこととなる。

指定管理者の指定について（白鳥温泉）

当委員会の継続調査では、宴会、宿泊はやめて、入浴と食堂の軽いメニューで継続

あり、本管の位置関係は、ほぼパソコンの画面で分かる。

現況のまま運営するとのこ

と、雨漏り等の改修は市と、

指定管理者で、どの様な条件になつてているのか。

管理業者（株）創裕では、すべて

現況のまま運営するとのこ

と、雨漏り等の改修は市と、

指定管理者で、どの様な条件になつていているのか。

## 平成十九年度決算審査特別委員会報告

## 民生常任委員会研修報告

## 建設経済常任委員会研修報告

九月定例会で継続審査になつて平成十九年度一般会計・各特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算の認定については、閉会中に慎重に審査した結果、いずれも認定する事に決定した。

審査過程において、公用車・税の不納欠損・福祉バス・人権啓発・市営住宅・道路維持・給食費など多くの指摘及び改善が出された。これらの点を含め、今後行政執行の上で十分留意し改善を図るようお願いするとともに、新年度予算編成においても反映するよう願う。

(認定された会計)

**一般会計**

国民健康保険事業特別会計

介護保険事業特別会計

介護サービス事業特別会計

老人保健事業特別会計

下水道事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

商品券事業特別会計

白鳥温泉事業特別会計

水道事業会計

なお、一般会計と国民健康保険事業特別会計においては反対討論があつた。

平成二十年七月一日～四日に県外研修を行つた。

福島県田村市では、少子化子育て支援対策を最重点施策と位置付け、市立保育所、市立幼稚園の四歳児五歳児の保育料を無料化とし、保護者の経済的負担軽減を核とした子育て支援策の充実を図つている。市立幼稚園の入園料の無料化と私立保育所私立幼稚園四歳児に月額一二、五〇〇円、五歳児に月額一五、一〇〇円の補助と、学童保育、預かり保育料も無料化している。

茨城県日立市では、地域や社会全体で地域の問題を考える為、平成十一年に小学校区単位で「地区社会福祉協議会」を組織し、地域一丸となつてまちづくりを開拓している。

東京都稻城市では、介護支援ボランティア制度について研修を行つた。

子育て支援としては、無料化の前に本市では、保育料の見直しと若者の定着できる環境づくりが必要を感じた。

また、「安心安全なまちづくり」については、本市では、個々の団体、個人の活動がなされているが、地区で組織として活動出来る拠点づくりが急がれると思った。

平成二十年十月一日～二日に県外研修を行つた。

行政が設置運営していた温泉施設について、東かがわ市が直面している諸問題への取り組みについて、山口県下松市へ、市役所及び大城温泉への視察研修を行い概要の説明を受け、質疑応答を行い、その後現地を視察した。

(海の駅について)

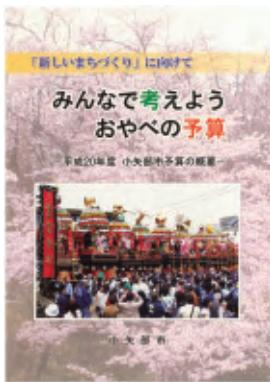
山口県周南市「しゅうなん海の駅」、広島県福山市「うつみ海の駅」、岡山県瀬戸内市「うしまじ海の駅」三ヶ所の視察を行つた。「しゅうなん海の駅」は、マリーナ及びホールでは結婚式場又レストランを民間施設として運営され、平日にもかかわらず混雑していた。マリーナは季節はずれでにぎわいはなかつた。「うつみ海の駅」は福山市が直営で運営し、隣接してマリーナを経営していた。「うしまじ海の駅」は大規模なホテルとマリーナが併設されており、完全な民間経営であった。

観光施設については、民間で運営しても難しいことであり我が市も充分に施設運営についてなお一層の研究が必要であると感じた。

# 般質問

## 予算書を全戸配布しては

田中 貞男



**問** 市発行の広報紙の円グラフ・主な事業・数字の羅列など市民がみてかなりわかりづらい、全戸配布する事により行政の透明化、市民が行政に対しての関心が高まると思うが。参考に富山県小矢部市では「みんなで考えようおやべの予算」を全戸配布し、関心がたかまつていてる。

表している。詳細に知りたい人は政策課において閲覧方式により公開をしている。また、ホームページにおいても、当初予算概要・普通会計の決算状況を更新し、財政事情の公開に努めている。

専門的用語や行政用語が多く、わかりづらい内容もあるが、行政の透明化をより図るために、他市の状況を参考に公開内容について分かりやすい資料とするよう検討したい。

**答** 地方自治法に基づき広報紙とホームページを媒体に広く一般に公表しており、広報紙については年四回掲載で、当初予算の内容は五月号に、前年度の上半期は六月号に、前年度決算状況は十一月号に、当該年度の上半期は十二月号に掲載し、全戸配布する事により市民に公

**問** ①引田地区の学校再編では地域住民への周知が不十分であつた為に、いまだに反対意見、または周辺整備や跡地利用についての強い要望が多くあります。基本的な考え方と来年度当初予算に跡地利用検討の予算計上を要望する。

②大内地区の学校再編計画も進められているが、引田地区での反省点を踏まえた上で、市民の理解を得たうえでの再編でなければならない、このまま進めば、丹生地区には、小学校も幼稚園もなくなるとの不安

解を得ることは重要であり、その為に先行投資として外部への委託経費は無駄とは思つておらず、必要に応じた計画作成のために予算投入はすべきであると考える。また、大川中学校区の再編については、「おおちの新しい学校づくり地域協議会」を立ち上げ、三月までに協議を重ねたうえで、おおむね年度内を予定である。

**答** ①今後、地域の要望を尊重し、費用対効果、緊急性、妥当性などの観点から跡地利用について検討します。また子どもたちの安全、安心な通学路のみならず、交通安全教育や、地域ぐるみで、子どもを見守つていくことも大切であると考える。

②当然、地域住民の十分な理解を得ることは重要であり、その為に先行投資として外部への委託経費は無駄とは思つておらず、必要に応じた計画作成のためには予算投入はすべきであると考える。また、大川中学校区の再編については、「おおちの新しい学校づくり地域協議会」を立ち上げ、三月までに協議を重ねたうえで、おおむね年度内を予定である。

## 14議員が立つ

### 市内の学校再編について

石橋 英雄

## 特別支援教育支援員の推進について

楠田 敬

**問** 特別支援教育は、障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善するため、適切な指導及び必要な支援を行い、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。こうした児童生徒のために特別支援教育支援員の存在は必要不可欠である。本市の特別支援教育の実態はどうであるか。また実態に即して特別支援教育支援員の配置は確実になされているのか。今後の具体的配置はどう講じていく考えか。

**答** 支援員の配置は、平成十九年度に四名、今年度は七名を採用しており、六小学校に配置している。配置にあたっては各校長からヒアリングを行い、

支援員の配置を継続してまいりたい。



育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善するため、適切な指導及び必要な支援を行ない、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。こうした児童生徒のために特別支援教育支援員の存在は必要不可欠である。本市の特別支援教育の実態はどうであるか。また実態に即して特別支援教育支援員の配置は確実になされているのか。今後の具体的配置はどう講じていく考えか。

その必要度を勘案して派遣を決定している。

平成十九年度の普通学級に在籍しているながら特別な教育支援が必要な児童生徒の実態は、小学校が五十人、中学校が二十四人である。特別支援教育の効果として(1)対象の子ども達が落ち着いて学習に取り組めるようになつた。(2)他の子ども達の学習に影響が少なく、授業がスムーズに行えるようになった等の報告を配置校からは聞いている。次年度以降についても各学校からのヒアリング等を行い、必要に応じて特別支援教育

## 市内の河川の改修について

大森 忠明

**問** 東かがわ市は、平成十六年十月二十日の台風二十三号

で、市内の河川、特に湊川、与田川は上流域の笠ヶ峰周辺で時間雨量百十ミリを超える豪雨となり、山崩れによる土石流が発生し民家の流失や道路・河川等に大変な災害となつた。現在でも大量の土砂が河川に堆積している。

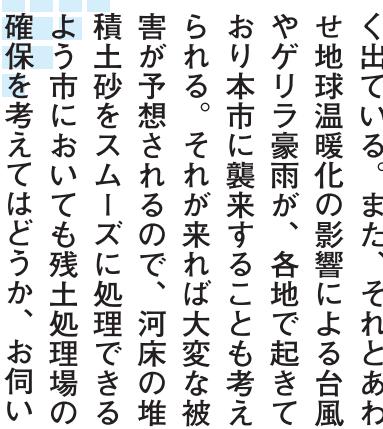
今では、その上に雑草が生え

イノシシ等が往来し、周辺の農作物に被害が出ている。そのため、自治会より土砂の搬出と雑草の整理をする旨の要望が数多く出ており。また、それとあわせ地球温暖化の影響による台風やゲリラ豪雨が、各地で起きており本市に襲来することも考えられる。それが来れば大変な被害が予想されるので、河床の堆積土砂をスムーズに処理できるよう市においても残土処理場の確保を考えてはどうか、お伺い

**答** 台風二十三号により、河川内に流れ出た土砂の対策については、河川の流れを大きく阻害している土砂は、護岸の災害復旧工事とあわせ早期の搬出を行い、必要な通水断面は確保できたものの、被災前の状況にはなつていないと、自治会よ

り河床整地の要望が出ている。そのため、県に要望しているが、予算等の関係で十分な対応となつていないと考えている。

また、堆積土砂の処理をスムーズに行えるよう、市においては残土処理場の確保については努力する。



与田川

支援員の配置は、平成十九年度に四名、今年度は七名を採用しており、六小学校に配置している。配置にあたっては各校長からヒアリングを行い、

支援員の配置を継続してまいりたい。

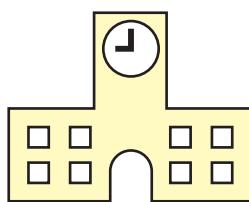
支援員の配置は、平成十九年度に四名、今年度は七名を採用しており、六小学校に配置している。配置にあたっては各校長からヒアリングを行い、

支援員の配置を継続してまいりたい。

する。

## 保育所・幼稚園・小学校の統合について

橋本 守



**問** 少子化が進む中、白鳥地区の保育所・幼稚園・小学校の統合について、どのような計画を持っているか。また、東かがわ市の幼保一元化について、どのように構想をしているのか。

平成十八年に策定された「東かがわ市学校施設整備構想」に基づき、今年、七月の教育委員会において策定した、「次期学校再編事業への取り組み方針」によつて、白鳥中学校区での再編事業については、大川中の学校区の着手後となつてゐる。将来的には、白鳥中学校区で一校にしたいと考えている。市全体としての幼保一元化の構想につきましては、将来的には小学校再編計画同様に中学校区を単位にそれぞれ一か所、幼稚園と保育所の双方の機能を兼ね備えた認定こども園を設置す

**答** 少子化が進む中、白鳥地区においては平成十八年度より緊急の一一体化運営を行つてゐるが、単に効率化だけでなく様々な面において保護者から好評をいただいてゐる。

本町・白鳥地区についてであるが、児童数の減少に加え狭いエリアの中で、公立の幼稚園が二カ所、保育所が一か所、私立の保育所が二カ所も存在している。市としては、将来的には白鳥地区で一か所の認定こども園を考へてゐるが、その運営方法については公立に限つた考へはない。

るという方向で考へてゐる。

白鳥地区ですが、福栄地区においては平成十八年度より緊急化防止やCO<sub>2</sub>削減が言われて

世界的な異常気象であつた

り、自然破壊など人類が起因するもので、対策には、誰かがやればいいでなく各人が、そして

地方自治体、行政も積極的に推進する必要があると考える。

そこで環境対策として家庭で実施してゐる設備に、太陽光発電装置、風力発電装置、雨水タンク、電気温水器、エコキュート、遮断性塗装などがある。これらは他市町村で支援がされてゐるものもあり「すべてに支援を」とは思はないが、研究しながら支援する考えがないか市長の所信を伺う。

**問** 普及、啓発活動はそれでやられたらしい。また、国がするから市もやるでなく、本当に研究・勉強してもらいたい。

高松市では雨水タンクの助成がいろいろな形である。

また、四国電力に伺うと、経済的な面からエコキュートがいま普及してゐるようである。

これは非常に高価なもので、国も補助金があるが、市としても是非考えてもらいたい。

## エコ対策での助成制度について

好村 昌明

**問** 国では補正予算で「住宅用太陽光発電導入支援対策補助金」を設けて普及・促進を図

**答** よく研究・検討をしてまいりたい。

らうとしており、我が市も他県の取り組みを参考にし、今後検討をしたいと考える。

他のエコ設備については生活の知恵が多くあり、省エネ・エコ情報を広報紙などで普及、啓発活動に取り組みたい。

## コミュニティバスの運行について

矢野 昭男

問 平成十六年三月に市コミュニティバス交通検討委員会を設置し、いくつかの案件を検討したが、厳しい財政下で新たに多額の経常経費の支出が伴う運行は断念せざるを得ないことに至った経緯があった。しかし、意見書の中でも現行制度の福祉バスの市内全域の公平性から考へて、拡充を図るべきではないかという意見もあり、検討がなされてきたと思うが。現在、学校統廃合が急速に進められていて、遠距離通学の対策としてスクールバスを充実していくことであるが、全市的になると相当の台数になり、登下校のみではせっかく導入したバスが有効に使われないのでと懸念されるので、高齢化の進む将来に向けてスクールバスの有効利用も含めたコミュニティバスの導入に

ついて再度取り組む考えはないのか尋ねる。

答 スクールバスをコミュニティバスとして利用するための課題として、車両購入に対し国庫補助となつた場合は目的外使用とならないよう留意する必要があること、高齢者や障害者が利用可能なバスとする必要があること、校外学習など学校活動の利用に対する需要があるなど

が考えられる。いずれにしても、コミュニティバスの導入には相応の費用負担が予想されるので、今後スクールバスの有効利用も視野に入れて、費用対効果、市民のニーズ、民業への影響、公平性などあらゆる角度から慎重に検討していきたいと考えている。

## 『全国学力テスト』からみる本市の状況と取り組みについて

木村 ゆみ

問 全国学力テストについては、各市区町村でも独自に結果を公表して学力向上などに役立てる。児童生徒の学習到達度を把握し、学習指導改善に生かすこと、また、自分の自治体の水準を把握し施策に反映させなければならない。本市は南原繁先生

は概ねねらいを達成していると思われるが、国と同様に「読む・書く力」や「思考力」「活用」において課題が見られる。市教育委員会では、市全体の成果や課題、改善策などについて文章にまとめ、各学校の指導訪問の際に提供した。各学校はそれを受けて、自校の指導改善に努め

ればならない。本市は南原繁先生や日本で女性初の博士となつた保井コノ先生の故郷である。本市の子どもたちが学習する楽しさを身につけ、日本の将来をしっかりと担う大人となるよう「学習到達度トップを目指す東かがわ市」をスローガンに掲げて取組むのもいいのではないかと思う。本市のそれぞれの学習到達度はどうか。そして、その後の学習指導にどう反映させたのか。またテスト結果の公表はどういう形で行われたのか。

答 本市の学習到達度についても概ねねらいを達成していると思われるが、国と同様に「読む・書く力」や「思考力」「活用」において課題が見られる。市教育委員会では、市全体の成果や課題、改善策などについて文章にまとめ、各学校の指導訪問の際に提供した。各学校はそれを受けて、自校の指導改善に努めている。学力テストの結果は、序列化や過度な競争につながることがないようにという配慮から、教育委員会としては数値による公表はしていない。県下では、「数値による公表」は坂出市一市のみ、「数値を用いらず、傾向や特徴を文章により公表」は本市を含め四市一町一組合、「公表しない」は三市八町と聞いている。

## 白鳥海岸侵食対策事業について

大數 雅史



須賀の海岸

**問** 平成十一年より工事着手されていた、白鳥港・三本松港港湾海岸侵食対策事業は災害対策はもとより、公園的要素もあり、国の補助による県事業として、次世代に残せるものと地域住民も期待していたが、本年度当初より、タダノへの土地売却に伴い、漁協と市の間のトラブルで中断されていることについてどのように解決するのか、漁協との協議はどうなっているのか。

として稚魚の放流資金を提供するなど、事業の推進を図つてきた。しかし、交渉が難航している状況である。「解決に向けた手段を考えているのか」とのことであるが、これまで同組合に対して地元関係者の方々や県、市から強く協力依頼を行つたが、現段階では、解決は困難な状況であると言える。いずれにしても周辺住民の方々の心情を考えると、本年度の事業中断により、次年度以降の事業廃止という最悪の事態は避けたいと思ふ。引き続き県港湾課及び長尾土木事務所と共に最善策を模索し、努力したいと考えている。

か。  
乳がんは日本の女性のがんでは最も多く、年々増加している。本市ではマンモグラフィ「乳房線撮影」による検診は四十歳以上となつていて、三十代でも乳がんになる傾向が多く見られる。乳がん撲滅の為にも、検診年齢を下げるべきではない

グラフィ（乳房X線撮影検査）と視触診との併用検査を実施している。一点目の受診率は、平成十九年度が九、四%である。

二、本市の乳がん検診を三十歳以上としてはどうか。

三、検診の充実を図るためにも、マンモグラフィを搭載した検診車を活用し、平日だけでなく、日曜日など市民の皆さんに行きやすい場所で、検診が受けられるようにしてはどうか。

射線被爆の不利益に対し明確な救命効果が立証されていないので、当面は今迄どおり四十歳以上とさせていただく。

三、検診の充実を図るためにも、マンモグラフィを搭載した検診車を活用し、平日だけでなく、日曜日など市民の皆さんに行きやすい場所で、検診が受けられるようにしてはどうか。

最後に検診の充実に当たつては、日曜日の検診の実施や検診場所など、市民の皆様が受診しやすい体制づくりに向けて、協議を進めているので、ご理解を賜りたい。

**答** 本市の乳がん検診は、四十歳以上は二年に一回マンモ

## 乳がん検診を受けやすい環境づくりについて

飛谷  
美江

## 東かがわ市の農業再生について

東本 政行

**問** 日本共産党は、この一年間に市内の十八ヵ所で懇談会を開いてきた。そこに参加された住民から出された意見で共通していいたのは、「今のままでは農業に未来はない。何とかしてほしい」ということだった。

農業を続ければ続けるだけ赤字になる。肥料や機械が高い。だから後継者はできない。あと十年もしたら農業をする人も減り、田や畑は荒れてしまう。農村地域そのものが成り立たない深刻な現状である。東かがわ市の中心産業は農業であり、農業をどう再生するかは、市の最大の政治課題である。世界的な食料不足が広がっている時、食料自給率の向上は待ったなしとなる。日本共産党は次のような「農業再生プラン」を提案してきた。  
 ①持続可能な農業経営の実現をめざし、価格保障。  
 ②家族経営を維持するともに、大規模経営をふくむ担い手育成で農地を保全する。  
 ③関税など国境措置を維持・強化し、



**答** 農業を取り巻く状況は、依然厳しいものがある。市の取り組みとしては、東讃農業改良普及センター・JAなど関係機関と連携して、「集落営農の組織化」をすすめている。農業を営む者が、組織化により、農業基盤の強化を図り併せて地域農業の活性化が地元農作物の消費を促し、自給率の向上に繋がるものと考えている。

**問** 「食料主権」を保障する貿易ルールを追求する。④農業者と消費者の共同を広げて、「食品安全」と地域農業の再生をめざす。東かがわ市の食料自給率の当面の目標は何%か。市の農業再生政策を示せ。

## 入札制度について

井上 弘志

**問** 総合評価方式入札は、工事の品質確保と構造的に談合しにくいという目的で全国的に導入されている。価格だけでなく様々な技術提案が求められ、その評価が落札者決定に大きく影響する。この入札方式をどう評価しているのか、また、誰が技術的な提案を評価しているのか、伺う。

**答** 専門の外部委員を含めた総合評価審査会により技術提案を審査している。評価の透明性、公平性の確保、落札後の請負業者の責任の重さなど、総合評価方式の重要性を感じていいく。

**問** 地元企業の育成、雇用確保の為に配慮が必要である。入札時に地元企業が参加できなければ良い事例がある。実情は発注金額、入札参加者格付基準のランクに起因している。実際は下請けとして仕事をしており、工事が出来ない。対策として分割発注すれば良い。今後どう対応するのか、伺う。

**答** 市長以下、事務の専決規程により各決裁権者が決定し

**問** 総合評価方式では、仕様発注だから予定価格は公共側の積み上げになる。信用性担保があるため、低入札調査制度がある過去に予定価格と入札価格が大きく違い、調査された事例が多い。結果、問題なしとの事で落札者が決定した。しかし、この事は予定価格の信頼性の問題を含んでいる。予定価格の信頼性の定は誰がしているのか、伺う。

**答** 事業発注の際、発注者がよい意思を強く持つことが必要である。その為には発注者自身が事業発注の際に、発注者がより良いものをより安くといふべきだ。

**答** 来年度には対応を再検討していく。事業発注の際、発注者がよい意思を強く持つことが必要である。その為には発注者自身が事業発注の際に、発注者がより良いものをより安くといふべきだ。

**答** 入札の制度、目的を遵守し、市民の利益となるよう努め

## 市民力・地域力について

安倍 正典

**答** 町づくりには、市民の行政への参加が必要であり、地域における市民の方々の力が必

(一) 現在の状況で市民力・地域力が充分であると考えられるのか。  
 (二) 充分でないとするならば、どういう指導をされているのか。  
 (三) 一つの方法として考えられて  
 いる避難訓練を、すべての市民の安否、所在が確認出来る避難訓練にしてはどうか。

藤井市政になって、初めて開かれた市民との行政懇談会に、百八十人しか集まらないかった状況を踏まえて、町づくりには市民の行政への参加と、市民一人ひとりが市民としての自覚と責任を持つて行動する事が不可欠であり、市民力・地域力を高めることにもつながると考える。

問

藤井市政になって、初めて開かれた市民との行政懇談会に、百八十人しか集まらなかつた状況を踏まえて、町づくりには市民の行政への参加と、

要であると考えている。

現在の状況が充分であるとは考えてはいないが、市政全般へ

の市民参加はどの程度が望ましいのか、また必要度がどの程度かは、それぞれの事案によりすべて変わつてくると考える。

市としては、自治会単位の活動や地域が主体となつて開催するイベントや文化、スポーツ、芸術などさまざまな分野において、市民活動への財政的な支援を行つており、引き続き地域のニーズなどを踏まえながら、今後も推進する考えである。

市民の方々が、お互いに地区の安否を気づかつた対応は、非常に大切であると考える。このことから、避難訓練時に地域の皆さんで安否確認を想定した訓練も共助の一歩かと思

## 大内地域の学校統廃合について

鈴江代志子

**答** 町づくりには、市民の行政への参加が必要であり、地域における市民の方々の力が必

(一) 現在の状況で市民力・地域力が充分であると考えられるのか。  
 (二) 充分でないとするならば、どういう指導をされているのか。  
 (三) 一つの方法として考えられて  
 いる避難訓練を、すべての市民の安否、所在が確認出来る避難訓練にしてはどうか。

「おおちの新しい学校づくり地域協議会」の二回目に  
 は委員各位が、地域の声を聞いての意見、御自身の考え方、資料提出要望等が出されていた。今まで小規模で学校があつた方がよいとの意見も少なからずあった。住民の合意が必要にもかかわらず、地域のみなさんは統廃合問題を知らない。協議会の方たちだけで進め、決定するのは重荷ではないか。保護者代表は子どもの安全を主張されていました。安全安心を考えるとよけいに地域の中で小規模な学校があり、地域が子どもを見守りながら「ミニユーニティ」を育てていくことがよいのではないか。コミュニケーションが大切といながらこのような学校統廃合を進めるのは時代に逆行している。

**答**

少子化の影響による学級数の減少、施設の老朽化、耐震化への対応等様々な理由による必要性から取り組んでいる。協議会委員には重荷ではないかという点、協議会の方たちだけで最終決定するものでない。3小学校についての合併特例債は県や国の指導をおのがなければならぬ。協議会に合併特例債の資料は加える。

まえ、小学校でも少人数学級にすればよい。ある委員は特区を作つてはとの意見もあつた。

教育論は未来論である。地域や市、子どもたちの将来にかかることを、今国がお金がないからという理由での国の統廃合強行策に従い統廃合してはならないと思うがどうか。小規模3小学校を建設すると合併特例債は有効なのか。協議会の資料にも加えて議論すべきと思うかどうか。

問

「おおちの新しい学校づくり地域協議会」の二回目に  
 は委員各位が、地域の声を聞いての意見、御自身の考え方、資料提出要望等が出されていた。今まで小規模で学校があつた方

かかわらず、地域のみなさんは統廃合問題を知らない。協議会の方たちだけで進め、決定するのは重荷ではないか。保護者代表は子どもの安全を主張されていました。安全安心を考えるとよけいに地域の中で小規模な学校があり、地域が子どもを見守りながら「ミニユーニティ」を育てていくことがよいのではないか。コミュニケーションが大切といながらこのような学校統廃合を進めるのは時代に逆行している。

少子化の影響による学級数の減少、施設の老朽化、耐震化への対応等様々な理由による必要性から取り組んでいる。協議会委員には重荷ではないかという点、協議会の方たちだけで最終決定するものでない。3小学校についての合併特例債は県や国の指導をおのがなければならぬ。協議会に合併特例債の資料は加える。

## 地方の道路整備

### 地方の道路整備のための財源確保に関する意見書

道路は、住民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基本的な社会基盤であり、公共交通の不足な地域にあっては、地方が自立し、活力ある地域づくりを推進するためには、その整備に極めて大きな期待が寄せられています。

香川県の東の玄関口となる本市においては、本州四国連絡高速道路や高速道路の整備効果を生かし、合併後の地域間交流や連携、更には、災害時等の危機管理体制の確立を図り地域の振興発展のためには、国道十一号バイパスや県道・市道に至る真に必要な道路網の整備が急がれています。

#### 記

十分配慮し、地方が真に必要としている道路整備を遅らせることがないようにすること。

三、「地方道路整備臨時交付金制度」、「地方道路整備臨時貸付制度」等、地方に配慮された制度等の拡充またはそれに代わる制度を創設すること。

四、本州四国連絡高速道路や高速道路の料金の抜本的引下げなど、四国と本州間の交流促進や地域間格差の解消を図る。

五、四国横断自動車道の高松東IC～鳴門IC間の早期四車線化を図ること。

六、道路の交通安全対策、渋滞対策、環境対策、防災対策等を一層促進すること。

七、国道十一号バイパスをはじめとする市内幹線道路の整備を一層促進すること。

以上、地方自治法の第九十九条の規定により意見書を提出する。

提出先  
内閣総理大臣・関係大臣・衆議院議長

香川県東部に位置する東かがわ市は、鳴門病院までの公共交通機関も整備されており、老若男女を問わず住民の多くが鳴門病院を利用しているという現状があります。このような状況の中、鳴門病院が廃止され、または、民間に売却され診療科目が減少するという事態になれば、市民は、医療を受ける手段・方法をもぎ取られることとなり、不安を抱えての生活を余儀なくされることになります。

鳴門病院は、昭和二十八年に公的医療機関として開設され、中小企業で働く政府管掌健康保険の被保険者ならびに地域住民の医療及び保健予防の拠点として、今日まで大きな役割を果してきました。二十四時間産婦人科救急医療、小児救急医療における輪番制・災害拠点病院として、最新の医療設備と近代的な医療システムで質の高い医療サービスを行い、第二次救急告示病院として鳴門市内はもとより板野郡や香川県東部、兵庫県の南淡地区等の医療を担い、地域のセンター病院としての役割を果たしております。

提出先  
内閣総理大臣・関係大臣・衆議院議長

## 鳴門病院の公的存続

### 健康保険鳴門病院の公的存続・充実を求める意見書

よつて国においては、社会保険病院等の整理合理化の検討に当たっては、患者・地域住民、病院関係者、地元・周辺自治体の意見を充分反映し、鳴門病院を民間への売却や廃止することなく、全国ネットワークをもつ公的な医療機関として存続・充実させることを強く要望します。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

提出先  
内閣総理大臣・関係大臣・衆議院議長

# 平成20年第5回定例会 議員の賛否表

議案名	発議第25号														
	議案第1号	議案第2号	議案第3号	議案第4号	議案第5号	議案第6号	議案第7号	議案第8号	議案第9号	議案第10号	議案第11号	議案第12号	議案第13号	議案第14号	議案第15号
議員名															
大藪 雅史	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
東本 政行	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
安倍 正典	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
安西 忠重	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
橋本 守	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
大森 忠明	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
矢野 昭男	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飛谷 美江	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
井上 弘志	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
鈴江代志子	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
木村 ゆみ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
清船 豊志	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
池田 正美	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
田中 貞男	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
元網 正具	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
楠田 敬	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
田中 孝博	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—
石橋 英雄	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
好村 昌明	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○

○は賛成 ●は反対 一は欠席 ※議長(大山圓賀)は、可否同数の場合のみ表決権があります。

※議案第18号 東かがわ市教育委員会委員の任命について=吉田りえ子氏

議  
会  
日  
誌

10月

- |             |             |             |             |     |           |         |           |           |     |       |         |           |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|-----------|---------|-----------|-----------|-----|-------|---------|-----------|
| 13日         | 9日          | 7日          | 24日         | 19日 | 18日       | 17日     | 8日        | 5日        | 4日  | 27日   | 17日     | 16日       |
| 議会広報編集特別委員会 | 議会広報編集特別委員会 | 議会広報編集特別委員会 | 議会広報編集特別委員会 | 本会議 | 総務文教常任委員会 | 民生常任委員会 | 建設経済常任委員会 | 本会議（一般質問） | 本会議 | 全員協議会 | 民生常任委員会 | 決算審査特別委員会 |
|             |             |             |             |     |           |         |           |           |     |       |         |           |

11月

- |           |         |           |         |       |         |           |
|-----------|---------|-----------|---------|-------|---------|-----------|
| 20日       | 29日     | 17日       | 28日     | 27日   | 17日     | 16日       |
| 決算審査特別委員会 | 議会運営委員会 | 決算審査特別委員会 | 議会運営委員会 | 全員協議会 | 民生常任委員会 | 決算審査特別委員会 |
|           |         |           |         |       |         |           |

12月

- |             |             |             |             |     |           |         |           |           |           |       |         |           |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|-------|---------|-----------|
| 13日         | 9日          | 7日          | 24日         | 19日 | 18日       | 17日     | 8日        | 5日        | 4日        | 27日   | 17日     | 16日       |
| 議会広報編集特別委員会 | 議会広報編集特別委員会 | 議会広報編集特別委員会 | 議会広報編集特別委員会 | 本会議 | 総務文教常任委員会 | 民生常任委員会 | 建設経済常任委員会 | 本会議（一般質問） | 本会議（一般質問） | 全員協議会 | 民生常任委員会 | 決算審査特別委員会 |
|             |             |             |             |     |           |         |           |           |           |       |         |           |

今年もよろしくお願ひいたします



新年あけましておめでとうございます。

新年早々から明るい話題ではありませんが、昨年十月から米国発金融危機による世界同時不況で景気後退が鮮明になり、厳しい年明けになりました。全国の自治体も税収減は明白です。これからのが市の財政状況をなんとか維持するため、議会も全力で取り組まなければなりません。議会だよりを通じて活動状況をお知らせし、市民の皆様のご理解を得られるよう紙面の充実に努めてまいります。

苦しいときほど将来に向けて智恵を出し合いまして、協力して安心安全なまちづくりに皆様とともに邁進して行こうではありませんか。

市民の皆さんのお聞かせください！

■編集後記■

議会事務局（東かがわ市湊一八四七番地二）  
TEL 〇八七九一六一一二一九  
FAX 〇八七九一六一一三四一